

令和4年度

神宅小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①言語活動の充実に向けた取組
- ②クロスカリキュラムの実践と充実

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 大松

委員  
曾我部校長, 岡田教頭, 教務主任: 飯田, 研修主任: 坂東  
生徒指導主任: 石井, 保健主事: 赤池

校長

曾我部 修司



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や校内研修における教員からの報告等により、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○漢字の読み書きや計算についてはある程度の定着が見られる。 ○学習時間にノートを取る習慣は身につけてきている。 ●読解力・数や言葉で説明する力に課題がある。	・基礎的基本的な知識・技能を身につけている。 ・身につけた知識を生かし、他の学習の場面で活用することができる。	・カッキーチャレンジタイムを活用し、ドリルやプリント学習を充実させる。 ・ユニバーサルデザインを取り入れた授業作りを行い、板書・ノート指導を充実させ、わかる授業作りに努める。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えや意見を持ち、表現できる力が育ってきた。 ●長文を読みとったり、その中から必要な情報を選択し、筋道を立てて話したり文章にしたりする力が不足している。	・学習課題に対して、自分の考えや意見を明確にもつことができる。 ・目的に応じて、理由や根拠を明らかにしながら自分の考えを話したり書いたりすることができる。	・「めあて」～「まとめ」「振り返り」を位置付けた授業を展開する。 ・身近な問題について自分の考えを表現する場を設定する。 ・1人1台端末を学校や家庭で効果的に活用するための教員研修時間を確保する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては、最後まで真面目に取り組むことができる児童が多い。 ●自分に自信のない児童が多く、自分で課題を見つけて計画を立て、主体的に学習しようとする意欲に課題がある。	・自ら課題を見つけて自主的に学習に取り組む、学ぶ楽しさや喜びを感じることができる。	・ICTやホワイトボードを効果的に活用し、発表や話し合い活動を充実させる。 ・児童が主体的に課題を見つけて学習できるように、体験や活動を授業に取り入れる。			

令和4年度 学力向上ロードマップ



